



知っていますか「90-90-90」エイズ治療と予防に可能性

国連合同エイズ計画では、エイズの流行を終わらせるために「90-90-90」という目標を定めています。

- ▼1つ目の90は、HIVに感染している人のうち90%が検査で自分の感染を知ること。
- ▼2つ目の90は、検査で感染がわかった人のうち90%がHIVの治療を始めること。
- ▼3つ目の90は、HIVの治療を始めた人のうち90%がウイルスを検査で検出できないぐらいに抑えられていること。

この3つの90を達成できれば、その地域のエイズの流行が終わる（新規感染の拡大が止まる）とされ、それを目指した取り組みが、世界各国で始まっています。

UPDATE！エイズ治療のこと HIV検査のこと…

エイズの流行の終わりを目指す「90-90-90」が提唱（2014年）されるようになった理由には、HIVの治療と予防の方法がここ数年、大きく進化してきたことにあります。

初めて後天性免疫不全症候群（エイズ）の症例が報告されたのは1981年のことでした。1983年にはヒト免疫不全ウイルス（HIV）が分離され、その後エイズの原因ウイルスだと認められました。

最初は「不治の病」といわれていた病気でしたが、1987年に最初の抗HIV薬が販売され、その後も次々と新しい薬が開発されました。2015年には1日1錠、食事の時間を気にせず飲める薬も登場し、近年では、研究成果により様々なことが分かってきました。

例えば、母親がHIVに感染していても、抗HIV薬によって母子感染は予防できます。このことから、感染者を治療することで、新たな感染を予防できると予測されていました。そこで、HIV陽性者と陰性者のカップルについて、大規模な国際的試験を行なったところ、「陽性者が治療を適切に受けていれば、相手への感染がほぼ起こらない」ことが分かった他、「HIVの治療を早めに始めることが陽性者の健康に良い影響を与えること」等がわかってきました。

日本では、「86-83-99」という推計データ（2017年、東京大学名誉教授 岩本愛吉氏の論文）が示されています。エイズ治療の進歩に伴い、もしHIVに感染しても、早期発見・早期治療すれば、社会を取り巻く人たちとともに生きていくことができます。「正しく知る」こと。そして、情報を「UPDATE」していくことが、今後、私たち一人ひとりに課せられています。

関連図書・パネルを展示します！

図書館にもご協力いただき、図書館内に関連図書やパネル・パンフレットを展示します。（記事の中にある、岩本愛吉氏の「90-90-90」に関する論文要約版も展示予定です）。

- ◆ 期間：12月4日（火）～12月21日（金）
- ◆ 場所：鳥取西高等学校 図書館

この機会に、エイズ・HIVへの理解を深めてほしいと思います。